

第 8 回 総合計画策定審議会 議事要旨

会議名：第 8 回総合計画策定審議会

日時：2025 年 11 月 27 日（木）13:30～14:00

場所：吉野町中央公民館 第 3 研修室

参加者：出席者名簿の通り

欠席者：吉野町議会 下中委員、吉野町議会 辻内委員、吉野製材工業協同組合 中西委員、吉野中央森林組合 坂本委員、吉野町社会福祉協議会 上辻委員、吉野町民生児童委員協議会 木谷委員、吉野町教育委員会 松谷委員、吉野町連合 PTA 中島委員、吉野町青少年問題協議会 里田委員、吉野町スポーツ推進委員 東平委員

資料：・第 8 回総合計画策定審議会次第

・資料 1 パブリックコメント結果（人口ビジョン・総合戦略）

・資料 2 吉野町人口ビジョン・第 3 期吉野町まち・ひと・しごと創生総合戦略案

・資料 3 答申（第 5 次吉野町総合計画後期基本計画）

【以下、協議内容】

1 開会

- 中井町長より開会の挨拶を行った。

【中井町長】

昨年度から総合計画策定審議会を開催し、本日は答申を予定している。

本日の第 8 回総合計画策定審議会においても、皆様からご意見をいただきたい。

- 吉野町 町長公室 紙西補佐より委員の出席者数の報告を行った。

2 議題（1）パブリックコメントの実施結果（序論・後期基本計画）

- 吉野町 町長公室 阪本補佐より「資料 1 パブリックコメント結果（人口ビジョン・総合戦略）」「資料 2 吉野町人口ビジョン・第 3 期吉野町まち・ひと・しごと創生総合戦略案」に基づき、人口ビジョン・総合戦略案のパブリックコメントの実施結果について説明を行った。

【事務局】

「資料 1 パブリックコメント結果（人口ビジョン・総合戦略）」の意見等は原文で掲載しているが、個別の事案・特定個人に該当する意見部分は非公開としている。

【会長】

パブリックコメントの結果は公表する予定が確認したい。

【事務局】

パブリックコメントの結果は公表を予定している。

2 議題（2）その他

➤ 事務局からの報告事項なし

➤ 総合計画策定審議会の閉会にあたり、委員の意見を募った。

【委員】

事業承継・新規創業支援のため、吉野町・吉野町商工会・日本政策金融公庫奈良支店で包括協定締結に向けて検討している。また、来年度経営発達支援計画（5 か年）を策定する予定であり、商工会としても積極的に企業支援に取り組みたい。

【会長】

地方経済は厳しい状況であるが、官民で連携することが重要である。

【委員】

総合計画策定審議会を含め、今後、町の会議体はオンラインで町民が視聴可能にすることも一案である。

【会長】

本審議会も傍聴は可能であるが、今後オンライン等で町民が会議体に参加しやすい工夫をすることも一案である。

【委員】

空き家バンクを通じて、耕作放棄地を借り、農地を整備・管理する事例が最近増加しており、地域活性化につながるよい傾向と考えている。以前までは、耕作放棄地に太陽光パネルが設置される事例が多かった。空き家バンクを活用して移住者が増加し、農地を整備・管理したい人が増えることは重要であるため、町としても発信を続けてほしい。

【会長】

空き家バンクを活用して住まいを確保し、仕事としてではなく、家庭菜園を楽しむ形で農業に取り組むため、耕作放棄地を探す事例は一定数あると考えている。

3 答申

➤ 会長から中井町長に答申を行った。

➤ 中井町長より挨拶を行った。

【中井町長】

第 5 次吉野町総合計画後期基本計画の答申を受領した。2024（令和 6）年 11 月に委嘱を実施し、1 年間にわたり、貴重な意見をいただいたことに感謝申し上げる。

吉野町は 2021（令和 3）年から第 5 次吉野町総合計画前期基本計画の各施策を推進してきたが、計画期間当初は新型コロナウイルスの感染拡大中であった。前期基本計画の策定から 5 年が経過し、今後後期基本計画を推進する。昨今、社会情勢の変化が大きい中、町の現状を考慮し、5 年後の姿を検討いただいている。

特に重点的に取り組んでいるのは庁舎整備事業である。庁舎整備に関する行政懇談会を開催するなど、町の考え方の周知に努め、安全・安心な庁舎を整備するための取組を進めている。各地区の拠点を整備するための取組も進めている。

また、「旧吉野小学校学校跡地利活用事業に係る事業用定期借地権設定契約および建物等使用貸借契約締結」を締結し「旧吉野小学校学校跡地利活用事業に関する合意書」の調印式を 11 月 20 日（木）に実施した。2027（令和 9）年 4 月の施設開所に向けて、工事を開始する。庁舎整備の事業を含め、後期基本計画の内容を踏まえ、官民が連携した取組を進めたい。

10 月 31 日（金）に南部・東部地域の市街化調整区域を対象に利用用途の基準が緩和された。今後市街化調整区域を活用し、どのようなまちづくりを進めていくか、後期基本計画の計画期間中に検討していきたい。

デジタル技術等を含め、社会変化が大きい時代であるため、後期基本計画を推進するにあたり、各事業の成果を検証する仕組みを整えていきたい。また、町民が主体的に町の取組に参画できる環境を整えることも重要である。

町内事業者は後継者不足が課題である。また、外国人が住みやすい・暮らしやすい環境を整えることだけでなく、共にまちづくりを推進する町民として、多文化共生社会を実現したい。

5 年後の農業関連の事業環境はより厳しくなると想定されるため、土地利用・農業振興・景観整備等を後期基本計画期間中に取り組みたい。

審議会でいただいた意見を後期基本計画の取組に反映していきたい。1 年間参画いただいた委員の皆様には感謝申し上げます。

3 閉会

➤ 吉野町 町長公室 戸毛公室長より閉会の挨拶を行った。

【戸毛公室長】

8 回の審議会を通して委員の皆様に参加いただき、答申をいただいたことに感謝申し上げます。

後期基本計画を 12 月議会に報告する。また、令和 8 年度予算以降、後期基本計画の内容を予算に反映する。後期基本計画の製本が完了次第、委員の皆様配布する予定である。審議会は終了するが、今後も町に意見をいただきたい。職員一丸となり、まちの将来像が実現するよう、業務に従事していきたい。

以上